

① 福祉目的使用のバス導入について

本町において、社会福祉協議会で運行していた、いわゆる福祉バスについてお伺いいたします。

当該バスは福祉協議会が運行・運営していましたが、様々な理由で事業から本年いっぱいで撤退することが決定しているようです。この間、車両をレンタルして運行したり、今まで使用していた車両の修理を行い何とか運行へと努力を重ねていたようですが、如何ともできずに事業終了に至りました。

しかしながら、当該バスに対する潜在的需要は依然高いものがあります。地域福祉目的の利用、障がい者福祉団体からの要望、ボランティア団体、自治会からも運行再開の声があがっておりまます。

社会福祉協議会には再開に対する財政的、人的余力はありません。そこで、本町がこの福祉目的バスの運行に主体的に取り組んでみてはいかがでしょうか。以下数点お尋ねします。

- (1) 社会福祉協議会が、福祉バスの運行を停止してから、町の方へ同様の目的を持つバス運行の要望はなかったか尋ねる。
- (2) 導入について検討する所管課はどこになるのか尋ねる。
- (3) EVなどの環境型配慮型バスの導入可能性についても尋ねる。

② マイナンバーカードおよびマイナ保険証の普及について

従来の健康保険証は、12月迄で使用が停止されることになっております。その後は「マイナンバーカード」での保険証利用を基本とする仕組みに移行します。

円滑に移行するために、国は様々な施策を行ってきました。その間、「健康保険証の存続を求める意見書」などが提出されましたが、本町では否決されました。こうした状況を踏まえて、地域住民が安心して「マイナ保険証」を利用できるよう、利便性や質の高い医療を受けるための基盤となっていくことなどの正しい情報を丁寧に発信していくことが必要と考えます。一人でも多くの方に、データに基づくより良い医療が受けられることや、高額医療費などの手続きが簡素化などの医療サービス環境を提供していくことを目指して、マイナ保険証取得の取り組みを進めるべきだと考えます。

また、大規模な災害などが発生した際に、開設された避難所においてマイナンバーカードを使って入退場管理や薬剤管理を行う実証実験を行った結果、入退所の手続きがスムーズかつ正確に行われ、避難者の把握にかかる時間が10分の1に短縮されたという事も聞いております。薬剤情報により必要量を正確に把握できたため、スムーズな支援要請ができ、避難者、運営者の双方に対して大きな効果が見られました。

以上を踏まえていくつかお尋ねいたします。

- (1) 本町のマイナンバーカードの普及率はどれくらいか。保険証の紐付けはどのくらいか。
- (2) マイナンバーカードの普及活動について尋ねる。
- (3) マイナ保険証の普及活動についてはどうか尋ねる。
- (4) マイナンバーカード及びマイナ保険証について、福祉施設などの入居者に対する取得支援はどうか尋ねる。
- (5) マイナンバーカード及びマイナ保険証について、海外からの転入者、新生児に対する取得支援、紛失への対応について尋ねる。